

近畿部会第155回例会

■テーマ

仕事に役立つ公文書 —自治体職員による歴史的公文書の利活用—

■と き 令和2年(2020)2月28日(金曜日)

午後1時30分～5時00分

■ところ 尼崎市総合文化センター

7階 第2会議室

(兵庫県尼崎市昭和通 2-7-16)

■報告者 松岡弘之氏 (尼崎市立地域研究史料館)

■コメント 蓮沼素子氏 (大仙市アーカイブズ)

■内容

現在、国・自治体の公文書行政のあり方とその見直しが進められています。市民が行政組織の活動を検証するにあたって、歴史的公文書の果たす役割は大きく、その保存管理・公開についても関心が高まっています。

一方で、行政組織内では、日々の政策調査など政策実現過程において歴史的公文書が利用されることがあります。自治体職員が具体的に歴史的公文書をどのように活用しているのか、また、公文書館はそうした政策実現の場でどのように貢献し、その役割を果たしているのか、実践例をもとに検証し、歴史的公文書の利活用をめぐる、今後あるべき姿を探っていきたいと思います。

歴史的公文書の利活用についてひろく考えていく場ができればと思いますので、公文書館等アーカイブズに関わる職員

はもちろん、自治体職員、まちづくりに関心のある方、さらには自治体への就職が決まった方、あるいは将来公務員を志望している学生の方など、皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

■参加費 無料

■お申し込み方法

参加フォーム (<https://ws.formzu.net/fgen/S21558128/>) よりお申し込みいただくか、事務局までメール (jsai@archives.city.amagasaki.hyogo.jp) にてお申し込みください。

■主催 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会

